



貨物輸送評価制度等の 東京都の取組

環境局環境改善部自動車環境課



目次

1. 東京都の自動車環境対策について



(1)大気汚染対策

(2)気候変動対策

2. 東京都貨物輸送評価制度について

(1)制度の概要

(2)評価項目

(3)評価方法

(4)制度の実績等



1. 東京都の自動車環境対策について

(1)大気汚染対策



大気汚染の状況

1960年代～1970年代



1980年代～1990年代



大気汚染対策

大気汚染対策のため全国で初めて 自動車の走行規制を制定

➤ 環境確保条例によるディーゼル車の走行規制

(都民の健康と安全を確保する環境に関する条例 2001.4施行)

- 粒子状物質(PM)排出基準の順守
- 条例で定めるPM排出基準を満たさないディーゼル車の都内(島しょを除く)の走行の禁止
- 対象はディーゼル車の内、貨物車、バス等
※乗用車は除く
- 義務対象者は運行責任者(車検証に記載される使用者)



ディーゼル車規制の概要

➤ ディーゼル車規制の運用の仕組み

- 粒子状物質(PM)排出基準の順守
 - ⇒ 都が指定する後処理装置を装着すれば基準クリア
 - ⇒ 東京都粒子状物質減少装置指定制度
 - ⇒ 装置装着車両は都への届出(データベースによる管理)
- 条例で定めるPM排出基準を満たさないディーゼル車の都内(島しょを除く)の走行の禁止
 - ⇒ 監視カメラの設置(ナンバープレート読取り)
 - ⇒ 自動車Gメン(違反車両の取締り)



自動車Gメンの創設(違反車両の取締り)

道路交通法(警察による取締り)に依らない規制のため、都独自の違反車両取締り組織を創設



路上での取締り



移動カメラでの撮影

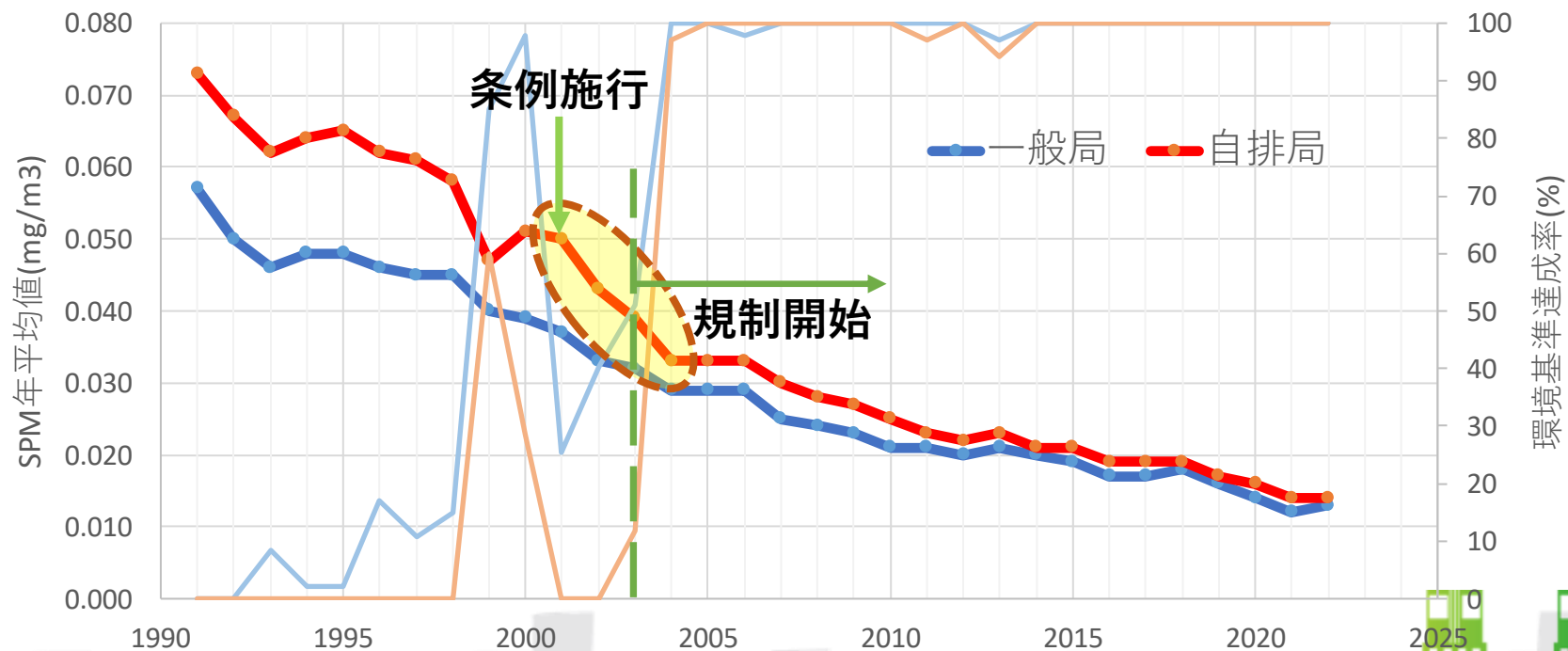
- ・取締りは、路上や主要な物流拠点等での取締り。
- ・違反車両であった場合は、で違反通知書を発行。
- ・その後行政処分の手続。



大気汚染対策

規制の効果

都内常時監視測定局 SPM濃度年平均・環境基準達成率の推移



自動車排出ガス測定局の都内年平均値
2001年度(条例施行)：0.050mg/m³から
2004年度(規制開始後1年)：0.033mg/m³に

34%低減

自動車環境対策の体系

大気汚染対策から

気候変動対策(温室効果ガス削減)へシフト

大気汚染対策

NO_x 、 PM

2003年から開始したディーゼル車
規制により、**環境基準を達成**

$\text{PM}_{2.5}$ 、 O_x

自動車以外の多様な発生源と合わせ、
総合的な対策を推進

気候変動対策

温室効果ガス削減対策

CO_2

地球温暖化防止の観点から積極
的な対策を推進



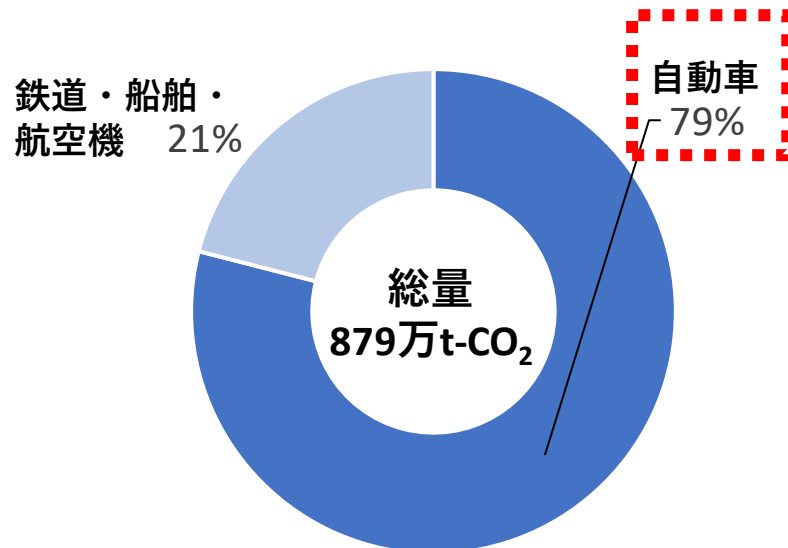
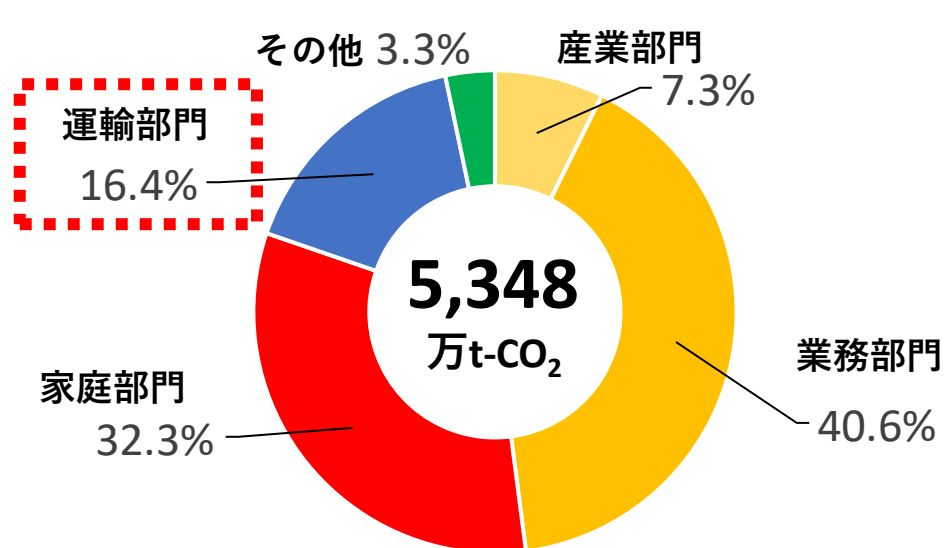
1. 東京都の自動車環境対策について

(2)気候変動対策



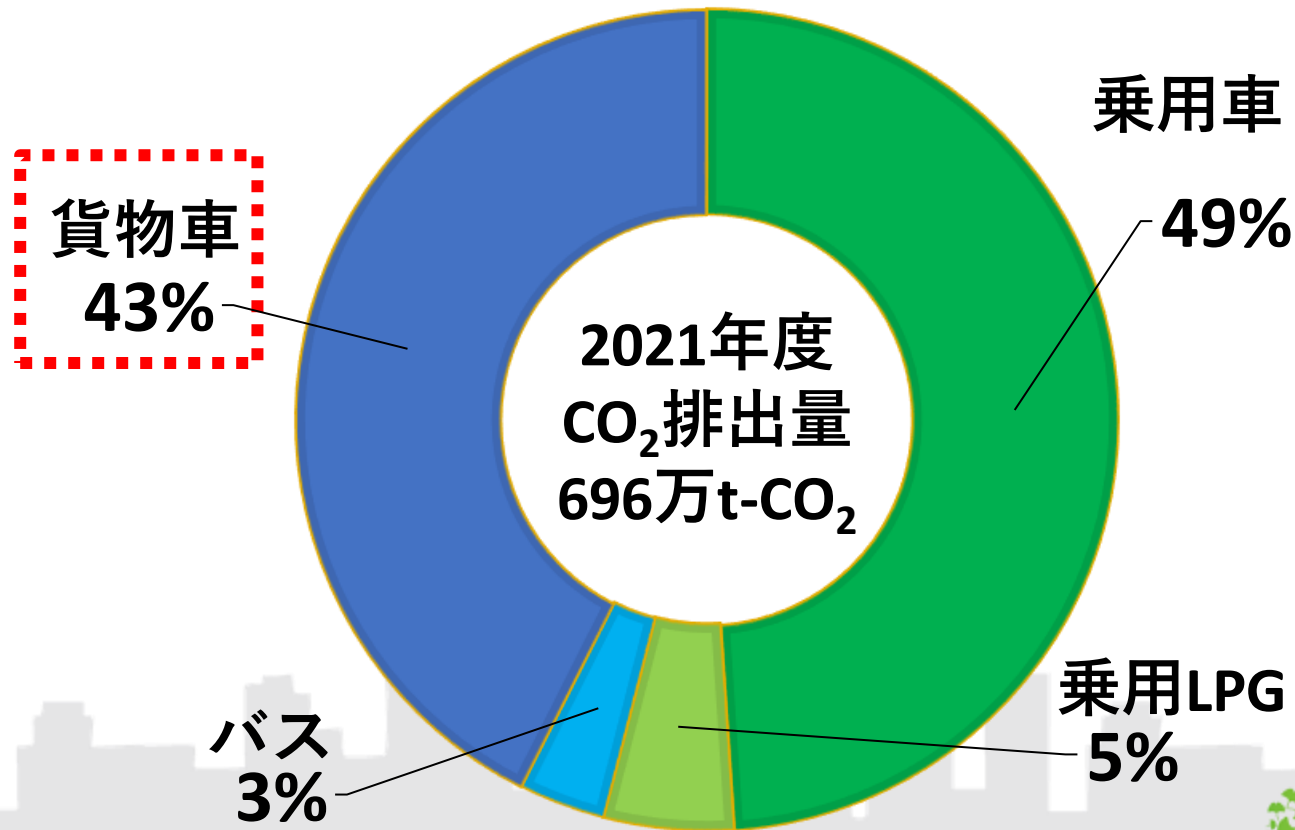
都内CO₂排出量の現状（2021年度）

- ▶ 都内CO₂排出量のうち、運輸部門は全体の約2割、うち約8割は自動車が占める。

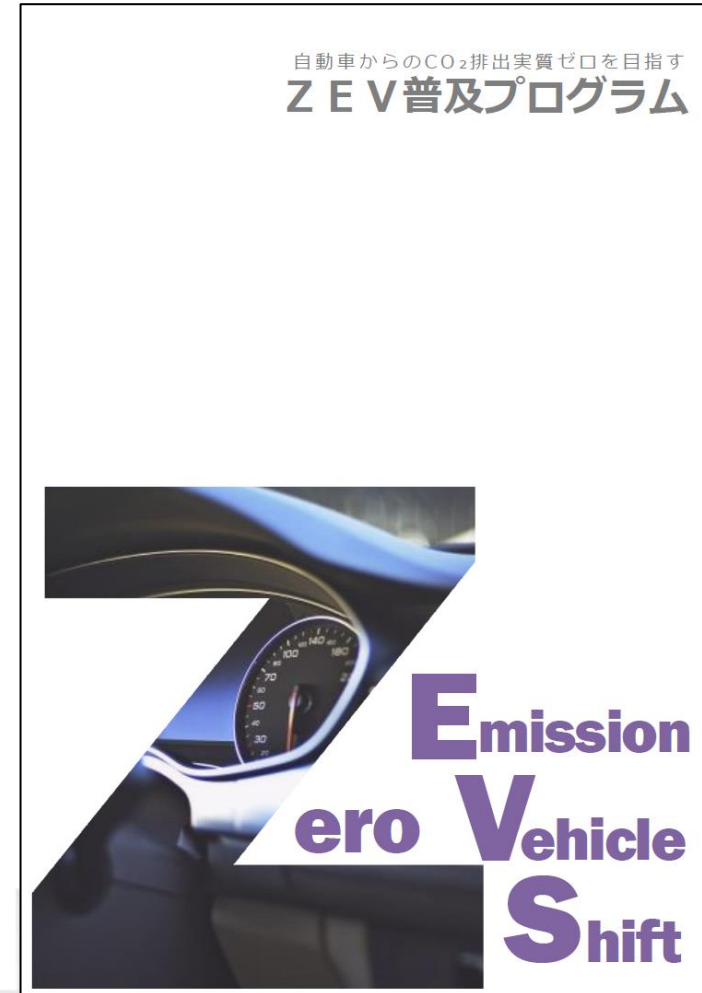


都内自動車CO₂排出量の現状

- ▶ 自動車からのCO₂排出量のうち約5割が乗用車から
- ▶ 貨物車のCO₂排出量は約4割



ゼロエミッション東京戦略とZ E V普及プログラム



ZEV普及プログラム



●ZEV普及プログラム

ZEVの普及を総合的に推進するため、2050年のマイルストーンとなる2030年目標を設定し、達成に向けたより具体的な取組を定めた、ゼロエミッション東京戦略において戦略の柱の一つに位置付けられているプログラム

●ZEVとは

走行時※にCO2等の排出ガスを出さない電気自動車（EV）やプラグインハイブリッド自動車（PHV）、燃料電池自動車（FCV）をゼロエミッションビークル（ZEV:ZeroEmission Vehicle）



2030年の政策目標

●ZEV普及プログラムにおける施策目標

	ZEV普及	インフラ整備
2030年 目標	・都内乗用車新車販売台数に占めるZEV割合 ⇒ 50% ・ゼロエミッションバスの導入 ⇒ 300台以上 ・小型路線バスの新車販売は原則ZEV化 ※乗車定員が30人程度の路線バス	・急速充電器 ⇒ 1000基 ・水素ステーションの整備 ⇒ 150か所
現在の 状況	都内乗用車新車販売台数に占めるZEV割合 ⇒ 5.7%(2023年3月末)	・公共用充電器 急速充電器486基 (2023年3月末) ・水素ステーション 23か所(2023年3月末)



2030年に向けたZEV普及の施策展開

●施策の展開の3つの柱

- 1 ZEV普及を支えるインフラの確保
- 2 乗用車・バス・バイクなど車両のZEV化促進
- 3 社会定着に向けた機運醸成



●施策の展開の3つの柱

1 ZEV普及を支えるインフラの確保

- ▶【充電器】事業者や区市町村による設置を支援するとともに、設置を促す仕組みを構築
- ▶【水素ステーション】経営の自立化に向け、事業者を支援するとともに、都有地などの活用に取り組む
 - 補助・支援 ～設置費補助、導入支援
 - 制度・仕組 ～諸制度を利用した充電器の設置誘導
 - 都庁率先行動 ～都有施設などを活用



●施策の展開の3つの柱

2 乗用車・バス・バイクなど車両のZEV化促進

- ▶ 車両購入価格の低減に向けた補助の実施等の施策を展開し、初期需要を創出
- ▶ ZEVの普及状況等を考慮しながら、ZEV導入を促す仕組みを検討
 - 補助・支援 ～購入費補助、導入支援
 - 制度・仕組 ～低公害・低燃費車導入義務制度
 - 都庁率先行動 ～庁有車へ積極的に導入



●施策の展開の3つの柱

3 社会定着に向けた機運醸成

- ▶ 事業者、自治体等の共感を得ながら、先進事例の情報共有や連携した情報発信など、官民両輪でZEV普及の機運を醸成
 - 官民連携による普及促進
～Tokyoスイソ推進チーム、ZEVの開発促進など
 - ZEVに触れ、ZEVを体感する機会の創出
～水素情報館、レンタカー等へのZEV導入促進など



2. 東京都貨物輸送評価制度について

(1)制度の概要



東京都貨物輸送評価制度」 とは

自動車からのCO₂削減対策として、
エコドライブなど環境負荷低減の取組を進める
貨物自動車運送事業者を実走行燃費で評価する制度

- 貨物自動車運送事業者の皆様
エコドライブに取組み、本制度にご参加ください。
- 荷主の皆様
製品等の運搬に本制度の評価事業者をご利用ください。



制度の概要

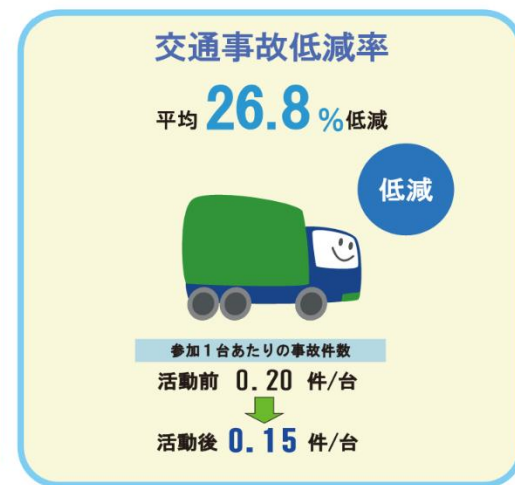
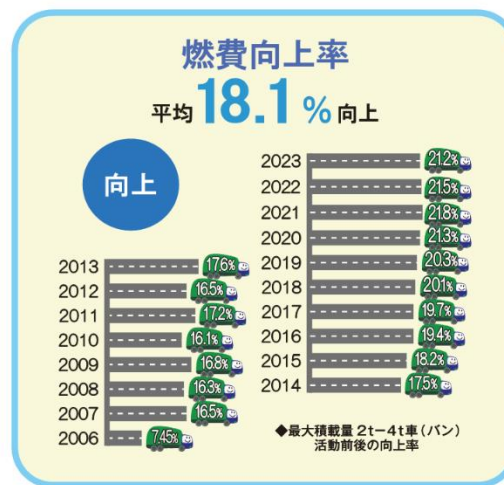
エコドライブの効果

- ▶ エコドライブは、CO₂の排出削減の他、次の効果ももたらします。

① 燃料消費量の削減
→ 燃料費の削減

② 交通事故の削減
→ 積荷の安全配送

エコドライブによる燃料・交通事故の削減効果 「グリーン・エコプロジェクト」18年間の実績



出典：グリーン・エコプロジェクト概要
一般社団法人 東京都トラック協会

東京都貨物輸送評価制度」のねらい

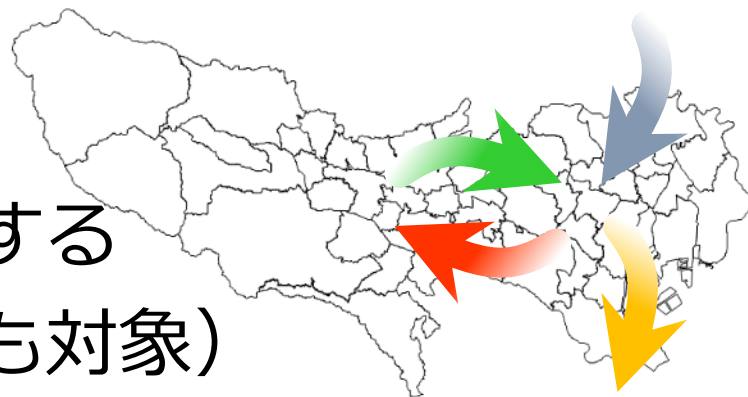
- 運送事業者のエコドライブなどの日常的なCO₂削減の取組を評価し、**星の数で見える化**
- 評価取得事業者が、受注機会拡大に向けて、**CO₂削減の努力と実績をアピール**
- 運送サービスを利用する際に、**荷主企業から評価取得事業者が優先的に選択され、受注機会が拡大**することで、**運送事業全体のCO₂削減を図る**



「東京都貨物輸送評価制度」の対象者

○対象

- ・ 都内において貨物を運送する
運送事業者（都外事業者も対象）
- ・ 1年間を通じて、全ての自動車(緑ナンバー)
の燃費管理記録がある。
- ・ ドライバーに継続的にエコドライブに関する
教育訓練を実施している。



2. 東京都貨物輸送評価制度について

(2)申請要件



評価項目

- ・ドライバーへの教育訓練の実施



社内講習の様子



評価項目

● 適正な燃費管理

[illegible]

■ ドライバーコメント

例：目標に対してどうだったか

次月は何に気を付けるか など

ゆっくり発進
ゆっくり停止
エコー運転が
事故防止!!

■ 管理者コメント

ありがとうございます
長時間良い季節に
なりました。
車の窓を開けて
目も大きくあけて
運転しましょう

評価項目

・データベースの構築

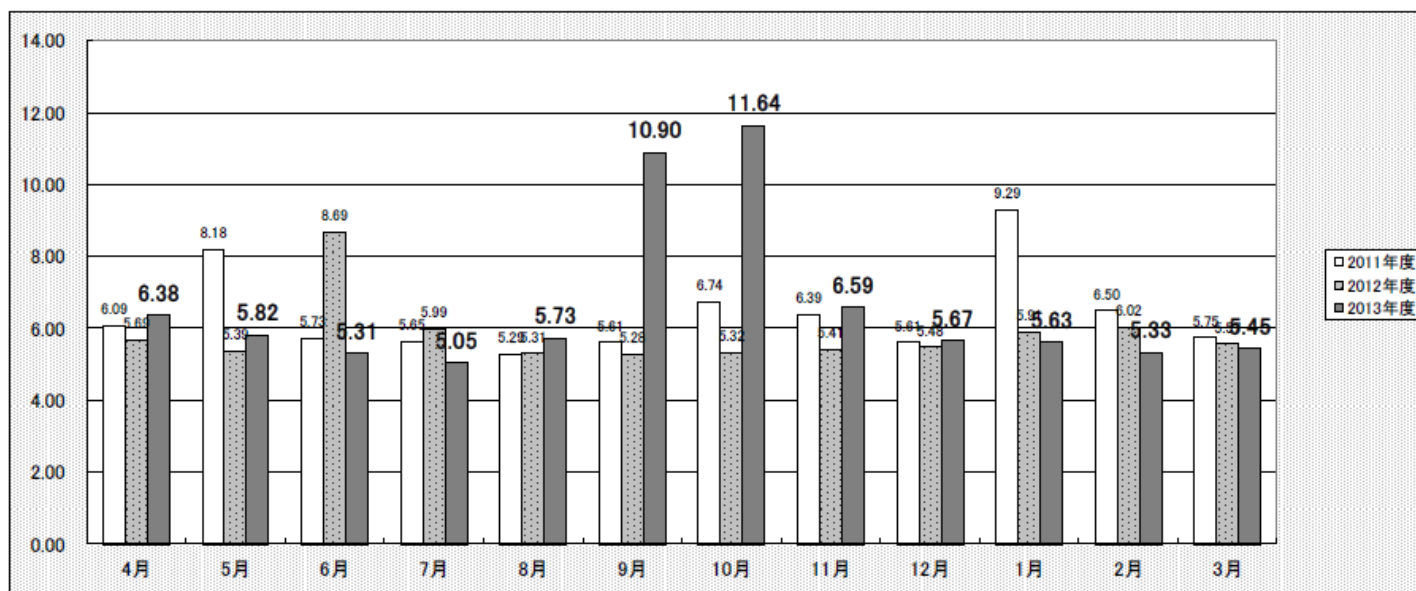
燃費結果表

■□運輸株式会社 ▲△本社営業所 全体

○●年○月度

(一社)〇〇トラック協会

燃費	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4～3月の合計
2011年度	6.09	8.18	5.73	5.65	5.29	5.61	6.74	6.39	5.61	9.29	6.50	5.75	6.41
2012年度	5.69	5.39	8.69	5.99	5.31	5.28	5.32	5.41	5.48	5.91	6.02	5.57	5.75
2013年度	6.38	5.82	5.31	5.05	5.73	10.90	11.64	6.59	5.67	5.63	5.33	5.45	6.19
前年比向上率	12.1%	8.0%	-38.9%	-15.7%	7.9%	106.4%	118.8%	21.8%	3.5%	-4.7%	-11.5%	-2.2%	7.7%



今年度
CO2削減量
(累計)

杉の木

922

本分植樹に相当

各車両毎の削減量の合計値

※エコモ財団資料準拠



2. 東京都貨物輸送評価制度について

(3) 評価方法



評価方法（ベンチマーク）

合計 8 6 万件のトラックの走行距離と給油量に関するデータを収集



写真提供 (株)タダノ

**70の車両区分ごとのベンチマークを設定
(燃料、車体形状、車両総重量等)**

例

区分	燃料種	車体形状	車両総重量	ハイブリッド の有無	平均 燃費
3	軽油	バン、現金輸送車	3.5トン超 7.5トン以下	無	7.05



評価方法（評価区分）

ベンチマーク

比較

事業者の1台ごとの
実走行燃費

偏差
値化

全車の偏差値を平均し、
事業者の偏差値を算出

星の数により **三段階で評価**



評価の方法（星の数で見える化）



なお、日常的な燃費管理の状況などから
評価しており、**一つ星であってもCO₂
削減の取組は優れたレベル**

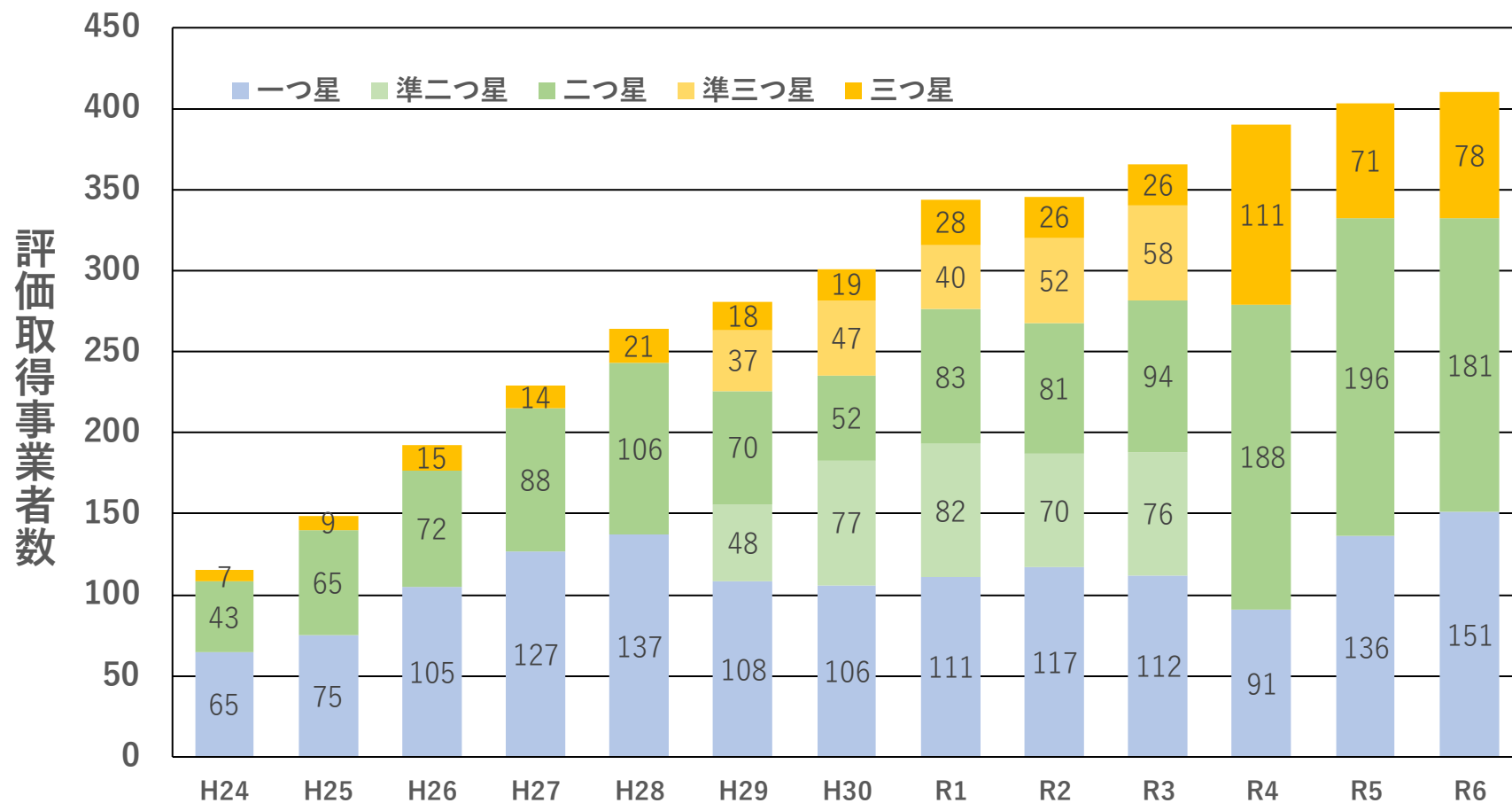
2. 東京都貨物輸送評価制度について

(4)制度の実績等



評価取得事業者数の推移

貨物輸送評価制度 評価取得事業者の推移



※H29~R3は、5段階で評価を実施



5、 10年連続評価取得事業者を表彰

これまでの実績を評価する認定制度を創設し、
事業者の皆様の継続的な取組を顕彰

- 東京都から認定書の授与
- 10年連続評価ロゴマークの表示
- 5年連続評価ロゴマークの表示
- 認定対象者名の公表



5、10年連続評価取得事業者を表彰

令和6年度 5年連続評価取得者
優秀事業者 **21社**
うち最優秀事業者 **6社**



令和6年度 10年連続評価取得者
優秀事業者 **28社**
うち最優秀事業者 **5社**



周知活動（イベントへの出展など）

2024年9月15日

トラックフェスタ TOKYO 2024



2024年9月10～13日

国際物流総合展

2024年12月4～6日

エコプロ 2024



ブース出展の様子

周知活動（専用HP作成、荷主団体訪問）

●専用HPを立上げ評価取得事業者を紹介



相川運送株式会社

住所	東京都江戸川区東葛西2-3-18 新ビル102号室
電話	03-3687-1268
FAX	03-3687-1385
ホームページ	http://akawansou.com/

取り扱い品目

軽工業品	紙・パルプ、機械工業品、食料工業品、日用品、その他の製造工業品
重工業品	書籍・印刷物・新聞、衣服、文具・玩具、ゴム製品、木製品、建築用品、雑貨、家具、その他製造工業品

相川運送株式会社
TEL: 03-3687-1268
FAX: 03-3687-1385
2023年度 優良企業

■ 印刷物の運送を主とした様々な品目を取り扱っております

弊社の創業は、先代が総合物流企業からのお仕事をいただき、長距離の運送を行うことから始まりました。
その後は、印刷会社様との引き合いをいただき印刷物や、書籍、出版物を主として、医薬品、雑貨、飲料などを運送。
その他、路線便の廃記業務や引越企業様のパートナーなど関東エリアをメインとして行い、さらにご要望に応じてスポット配送も承っております。



■ 次世代に繋げる活動としてエコドライブ活動を開始

エコドライブ活動のきっかけは、グリーン・エコプロジェクトへの参加でした。
毎日の燃費管理を行い、「ふんわりアクセル ふんわりブレーキ」を意識することで、燃料の消費削減やCO2排出量の削減に繋がります。また、安全な運送を心がける上でも効果的だと感じ、継続的なエコドライブ活動を実施しております。
ドライバーにエコドライブの意識をもってもらうために、前年比1%向上の目標を設定して、全体の安全会議やミーティングなどで状況のフィードバックを行いました。また、この活動は、次世代の子どもの将来に繋がるものと伝えることで、一人ひとりの意識を少しずつ変えていきました。



■ エコドライブを継続的に行うために日常的に意識づける活動を実施

エコドライブ活動のために、外部講師を招き、安全講習として走り方やエコドライブの仕方などを教育しています。
また、燃費管理表を集計したグリーン・エコプロジェクトのデータを用い、個別に運転状況のフィードバック等を行っています。



エコドライブに継続して取り組んだ結果、事故も減り、車両の稼働回数や走行距離が増加する中でも、燃費は減少しているといった結果が出ています。これらはエコドライブの効果だと認識しています。

●荷主団体訪問

評価取得事業者を優先的に利用してもらうよう、荷主団体等へ働きかけ

これまで、**延べ約200団体以上訪問**（H26～）



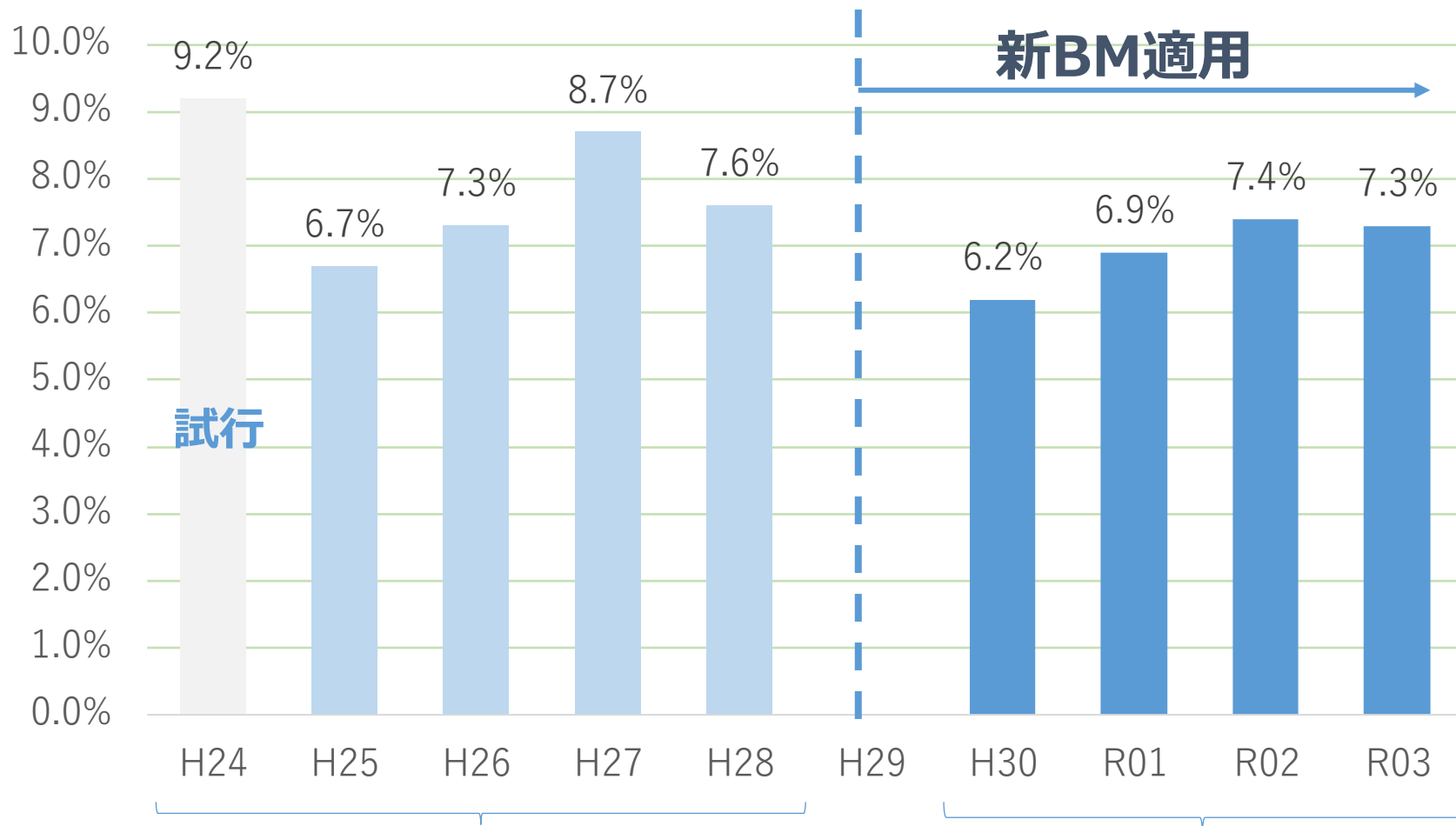
東京都のグリーン購入の取組

都は、率先してグリーン購入に取り組むため、東京都貨物輸送評価制度の評価取得について、**荷物運搬や引越輸送契約の際、配慮することが望ましい事項**と定めています。

グリーン購入とは
購入の必要性を十分に考慮し、品質や価格だけでなく環境の事を考え、環境負荷ができるだけ小さい製品やサービスを、環境負荷の低減に努める事業者から優先して購入することです。



ベンチマークに対する燃費向上率



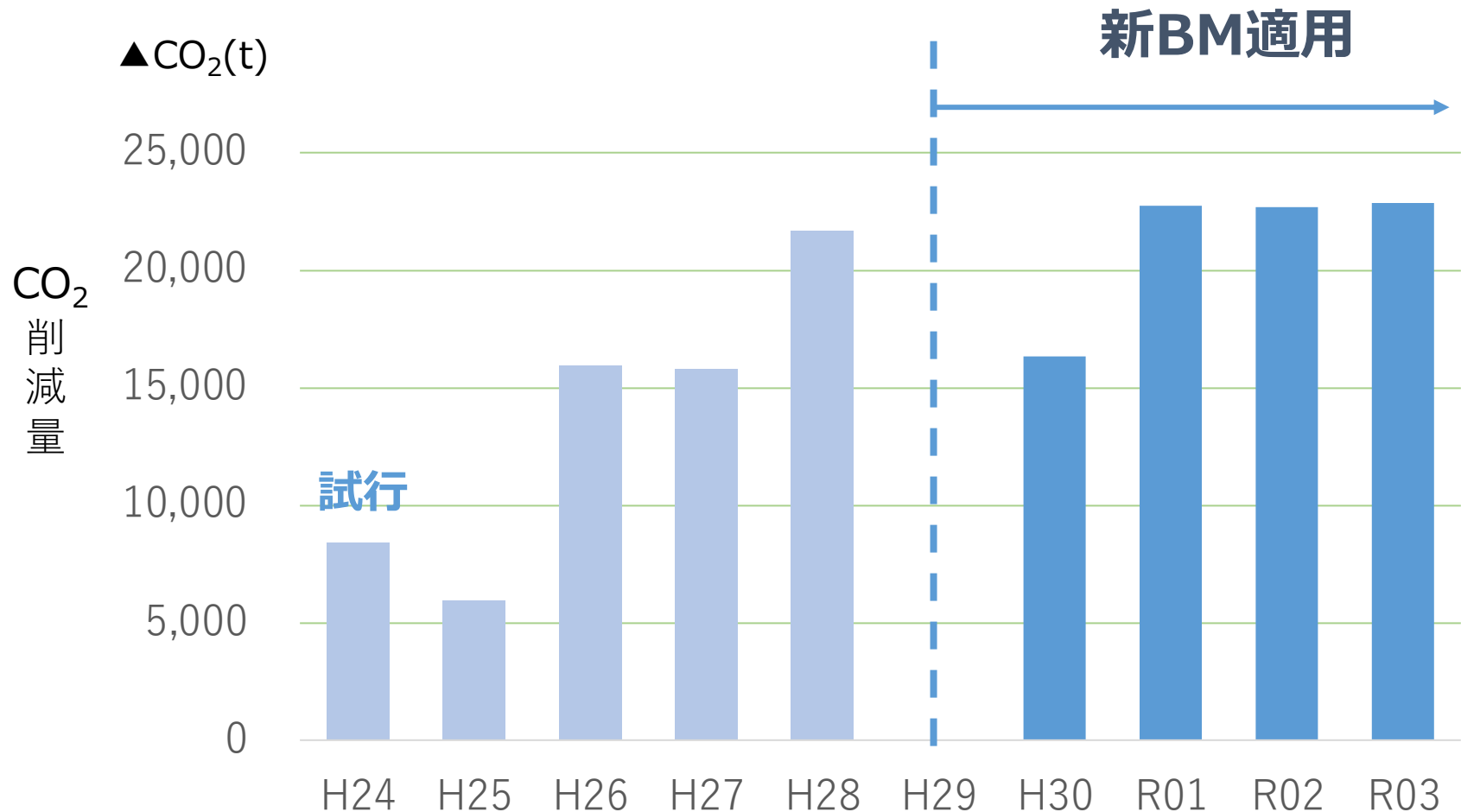
※軽油燃料の平均値

H24BMに対する
燃費向上率

H29BMに対する
燃費向上率



CO₂削減量の実績



※BM（基準燃費）に対する燃費向上率からCO₂削減量を算定している。



次年度のスケジュール

4月	説明会
----	-----

4月末－ 5月下旬	申請受付期間
--------------	--------

6月	書類審査（会社訪問）
----	------------

6月末頃	東京都貨物輸送評価制度 評価公表 5、10年連続評価取得事業者 表彰
------	---------------------------------------



ご清聴ありがとうございました

